

## 日本がん分子標的治療学会 第2回シーズ・ニューズワークショップ

2025年1月23日(木) 公益財団法人微生物化学研究会 微生物化学研究所 別館会議室

### 実行委員長

川田 学 (公益財団法人微生物化学研究会)

### 実行委員

秋永士朗 (NANO MRNA 株式会社)

根東 攝 (中外製薬株式会社)

芹生 卓 (医薬品開発能力促進機構)

森 聖寿 (協和キリン株式会社)

松井順二 (エーザイ株式会社)

宮寺和孝 (大鵬薬品工業株式会社)

### 評価者 (コメンテーター)

森 文隆 (大鵬イノベーションズ合同会社)

片田江舞子 (Infinite CORE 株式会社)

河原三紀郎 (東京大学協創プラットフォーム開発株式会社)

谷 匡治 (シコニア・バイオベンチャーズ株式会社)

二見崇史 (AN ベンチャーパートナーズ)

塩原 梓 (株式会社東京大学エッジキャピタルパートナーズ)

江崎正浩 (協和キリン株式会社)

入江弘樹 (中外製薬株式会社)

吉村千穂子 (大鵬薬品工業株式会社)

山本 暁彦 (エーザイ株式会社)

番匠俊博 (第一三共株式会社)

森下大輔 (Chordia Therapeutics 株式会社)

## 1 基調講演 (13:00~13:30)

タンパク質分解技術と創薬

内藤幹彦 (東京大学大学院薬学系研究科 タンパク質分解創薬社会連携講座 特任教授)

## 2 ワークショップ (各シーズ: 発表10分、質疑応答10分)

### 前半 (13:40~15:20)

シーズ1 核内受容体 NR4a を標的とした抗腫瘍免疫増強剤あるいは抗炎症剤の開発

吉村 昭彦 (東京理科大学生命医科学研究所 分子病態学部門)

シーズ2 ミトコンドリア1炭素代謝酵素 SHMT2 は、がんの新規分子標的候補である

後藤 典子 (金沢大学がん進展制御研究所 分子病態研究分野)

シーズ3 がん幹細胞性を担う転写因子 PRDM14 を標的とする抗がん siRNA 医薬

谷口 博昭 (金沢大学がん進展制御研究所)

シーズ4 神経芽腫および胆管癌に対する NCYM 阻害剤の開発

末永 雄介 (千葉県がんセンター研究所 進化腫瘍学研究室)

シーズ5 化学修飾型 microRNA-143 を用いたがん補充療法の開発と展開

谷口 高平 (大阪医科薬科大学 総合医学研究センター)

### コーヒープレーク (15:20~15:40)

### 後半 (15:40~17:20)

シーズ6 多量体型チロシンキナーゼ Fer を標的とした新規がん治療薬の創出

小根山 千歳 (愛知県がんセンター研究所 腫瘍制御学分野)

シーズ7 老化細胞由来の分泌シグナルを持つ新規遺伝子の同定と加齢疾患予防・治療への展開

小田 司 (群馬大学生体調節研究所)

シーズ8 細胞内輸送経を標的としたがん血管新生阻害剤の開発

田中 美和 (がん研究会がん研究所)

シーズ9 免疫システムを制御する新たな分子群を標的とした創薬プラットフォーム

Immu-Greg (イミュ・グレッグ) 技術による新規がん免疫療法の開発研究

寺島 裕也 (東京理科大学生命医科学研究所)

シーズ10 癌再発予測手法ならびに再発予防へ資する創薬開発の可能性

本間 美和子 (福島県立医科大学医学部)

ミキサー会場設営のため、一旦会議室よりご退室をお願いいたします。この間、別館展示物や梅澤濱夫記念館 (HUM) の見学が出来ます (スタッフがご案内いたします)。

## 3 ネットワーキングミキサー (18:00~20:00)

# フナコシのおススメ製品！

**funakoshi**  
FRONTIERS IN LIFE SCIENCE  
フナコシ株式会社

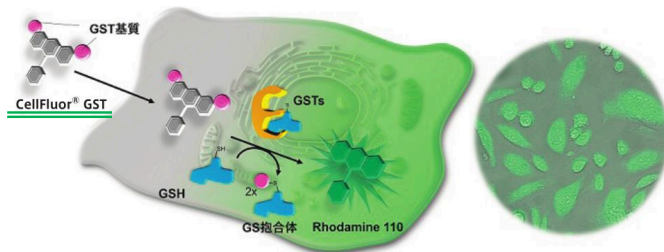
GST活性を生細胞で測定できる蛍光プローブ

# CellFluor<sup>®</sup> GST

[メーカー略称: FNA]

生細胞で  
測定可能

励起 496 nm / 蛍光 520 nm



価格・在庫・納期は  
Webで確認できます！



[www.funakoshi.co.jp/contents/68847](http://www.funakoshi.co.jp/contents/68847)

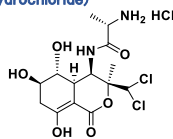
※Pi-class Glutathione S-Transferase (GSTP1) の酵素活性を生細胞で観察できるプローブCellFluor<sup>®</sup> GSTP1もあります。

IMC 微生物化学研究所  
Institute of Microbial Chemistry  
(公財) 微生物化学研究会  
微生物化学研究所

# がん研究に有用な 天然有機化合物

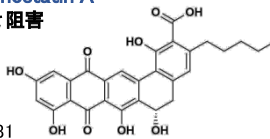
[メーカー略称: IMC]

**Bactobolin A (Hydrochloride)**  
抗腫瘍



#08465

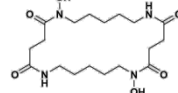
**Bequinosatin A**  
GST π 阻害



#14681

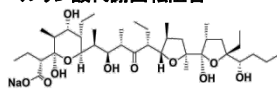
**Bisucaberin**

マクロファージを介した腫瘍細胞溶解を誘導



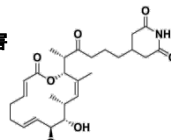
#14659

**Inostamycin A (Na salt)**  
イノシトールリン酸代謝回転阻害



#14652

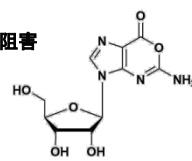
**Migrastatin**  
がん細胞転移阻害



#10708

**Oxanosine**

GMPシンターゼ阻害



#00762

※“#”以下の英数字は、商品コードを示しています。

微化研の天然有機化合物の全ラインナップはこちら ▶

価格・在庫・納期も確認できます！

[www.funakoshi.co.jp/contents/68244](http://www.funakoshi.co.jp/contents/68244)



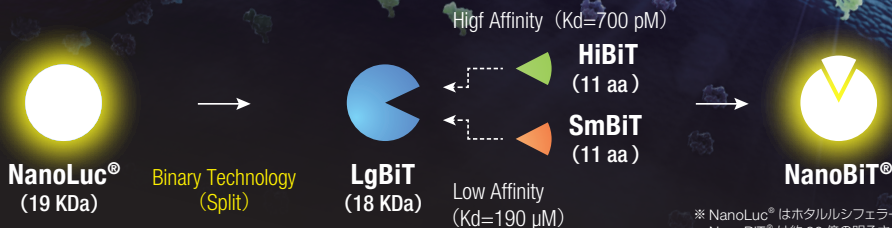
**funakoshi**  
FRONTIERS IN LIFE SCIENCE [www.funakoshi.co.jp](http://www.funakoshi.co.jp)  
フナコシ株式会社 〒113-0033 東京都文京区本郷 2-9-7

試薬に関するお問合せ  
TEL 03-5684-1620  
✉ [reagent@funakoshi.co.jp](mailto:reagent@funakoshi.co.jp)

FLAGタグ ELISA  
ウエスタンブロット

# 標的タンパク質検出法を変える...

## NanoBiT® テクノロジー



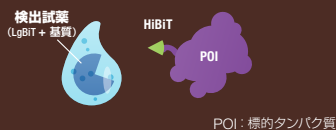
※ NanoLuc® はホタルルシフェラーゼの約 100 倍、NanoBiT® は約 30 倍の明るさ

### HiBiT

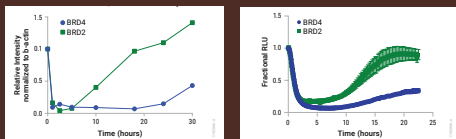
#### 発光ペプチドタグ技術

細胞ベースで真のタンパク質動態を捉える！

- よりありのままのタンパク質の増減が明らか！
- 標的遺伝子に発光ペプチドタグを付加すれば、動的なリアルタイム解析も！



- 細胞外タンパク質検出 (受容体や分泌タンパク質)
- 生細胞でのリアルタイムタンパク質検出 (LgBiT を安定発現)
- 細胞溶解検出法 (細胞内タンパク質)
- プロテイング検出 (LgBiT 試薬による発光検出)
- 抗体検出・分離法 (抗 HiBiT 抗体による検出、フルダウンなど)



dBET1 処理による BRD4 および BRD2 分解タイムコースアッセイ

左図: タイムポイントごとに細胞ライセートを調整してウエスタンブロットティングを行った。右図: CRISPR 法で HiBiT をノックインした生細胞を用いて経時的に発光測定



NEW

- Anti-HiBiT 抗体
- HiBiT ノックイン細胞各種

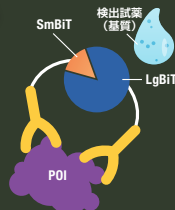


### Lumit

#### 高速イムノアッセイ

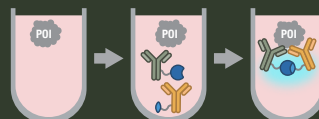
このスピードを体感したら ELISA にはもう戻れない！

- 固定、洗浄が不要だから自動化も容易！
- ターゲットキットから DIY キットまで



- ターゲットイムノアッセイ (以下の表参照)
- ユニバーサルキット<sup>2)</sup>
- ラベリングキット (市販の抗体を LgBiT/SmBiT で標識)

注) LgBiT または SmBiT 標識二次抗体を含みますが、市販の一次抗体が別途必要



固定 / 洗浄不要。ただ試薬を加えて発光測定するだけ

#### ターゲットイムノアッセイキット

IL-1 β	IL-18	Glucagon
IL-2	TNF α	FcRn Binding
IL-4	hKI-67	Fc γ RI Binding
IL-6	HMGB1	Fc γ RIIA (H131) Binding
IL-8	VEGF-A	Fc γ RIIA (R131) Binding
IL-10	IFN- γ	Fc γ RIIIA (V158) Binding
IL-12	IFN- β	Fc γ RIIIA (F158) Binding
IL-17A	• Insulin	



プロメガ株式会社

Tel. 03-3669-7981 Fax. 03-3669-7982

Web サイト

www.promega.jp

テクニカルサービス: Tel. 03-3669-7980 Fax. 03-3669-7982

E-Mail: prometec@jp.promega.com



# FIDA NEO

 **Fidabio**

## 溶液中でのカインेटクス解析： 制限からの解放

- 固定化なし：すべての結合部位にアクセス
- 制約なし：界面活性剤、イオン強度、温度、pHなど
- 精製なし：夾雑サンプルで測定可能
- 再生なし：固定化したタンパク質の変性リスクを排除

### 標的タンパク質分解 (TPD)

リポソーム・LNP

膜タンパク質

LLPS・アミロイド凝集解析

### 絶対的な測定

5% サイズ変化の検出

1 nm ~ 1 μm 粒子サイズ

pM ~ mM 親和性 ( $K_D$ )

sec ~ hrs カインेटクス ( $k_{on}$  &  $k_{off}$ )



輸入販売元

 **KIKO-TECH**

キコーテック株式会社 事業開発部

<https://www.kiko-tech.co.jp/>



## 協賛企業

フナコシ株式会社  
プロメガ株式会社  
キコーテック株式会社  
トレード・リード